



白子の湧水群と歴史発見ツアー・よもぎアンパン作り報告

白子は湧き水のある自然と宿場（白子宿）の歴史がのこる「自然と歴史の交差点」。湧き水や歴史を訪ねる周遊観察会と、季節の「よもぎアンパン作り」も楽しめる和こたん人気の企画です。県内各地から申し込みがあり、大人も子供も一緒に楽しみました。白子の湧水群は湧き水の湧き出す地層が見られるのが特徴で、水路にはサワガニやヘビトンボが生息している都市部では貴重な地域です。湧き水の会がガイドを行い、パン作りはぼけっとステーションの会が行う2つのNPO法人がコラボレーションして実現しました。



会場いっぱいの参加 ぼけっとステーションのパン作り。 ヨモギ入りのパン生地に餡を入れて



富澤湧水の湧き水の仕組みがわかる地層観察 水路でサワガニ発見。湧き水に棲む日本の固有種です



次の森へしゅぱ〜つ。 このふれあいの森は「白子大坂ふれあいの森の会」が保全。子供水車が回る。



白子橋で清水かつらのお話聞く。地福寺で馬頭観音の石碑の前で見学。お地藏さんと一緒に並んで。



コミセンでは、焼きあがったよもぎアンパン、とってもおいしかった。子供自然博士号を授与し、参加者からは、身近な自然の素晴らしさを体感できました参加したいとの事。